

| | | | | | | | |
|--|---|-----|------|---------|-------------------|------------|----------------|
| 授業科目(ナンバリング) | 観光史 (CA117) | | | 担当教員 | 谷口 佳菜子 | | |
| 展開方法 | 講義 | 単位数 | 2 単位 | 開講年次・時期 | 1 年・後期 | 必修・選択 | 必修 |
| 授業のねらい | | | | | | | アクティブ・ラーニングの類型 |
| 本講義のねらいは、イギリス、アメリカ合衆国（以下、アメリカ）、日本における観光の歴史に関する基礎的知識を習得し、現代の国際観光へのつながりを理解すること、各国の観光の歴史から観光開発を進めることでどのような問題が生じるかを考察することである。 | | | | | | | ⑩ |
| ホスピタリティを構成する能力 | 学生の授業における到達目標 | | | | 評価手段・方法 | 評価比率 | |
| 専門力 | イギリス、アメリカ、日本の観光の歴史的な展開について理解することができる。 | | | | ・定期試験 ・毎時の小テスト | 60% 30% | |
| 情報収集、分析力 | | | | | | | |
| コミュニケーション力 | | | | | | | |
| 協働・課題解決力 | | | | | | | |
| 多様性理解力 | イギリス、アメリカ、日本の観光の歴史の特徴や問題を挙げて自分の意見について述べるができる。 | | | | ・課題レポート | 10% | |
| 出席 | | | | | 受験要件 | | |
| 合計 | | | | | 100% | | |
| 評価基準及び評価手段・方法の補足説明 | | | | | | | |
| <ul style="list-style-type: none"> ・課題レポート（筆記式）・・・イギリス、アメリカ、日本の観光史の特徴や問題を挙げ、自分の意見を求める課題を出す。 ・小テスト・・・毎時の小テスト（ポートフォリオで提出）により、授業への取り組み具合を評価する。 ・定期試験（択一式）・・・授業で学んだ内容について正しく理解しているかを問う。 <p>課題に関するフィードバックは授業で行う。 授業の進行を妨げる行為（私語など）を行った場合には減点することがある。</p> | | | | | | | |
| 授業の概要 | | | | | | | |
| <p>本講義では、主として18世紀以降のイギリス、アメリカ、日本における観光の特徴を学ぶ。まず統計データを利用して現代の国際観光におけるヒトとカネの動きを把握する。それから各国の観光の歴史的展開をみていく。各国のそれぞれの時代における経済、社会、文化をみるとともに、観光に関係する人物を挙げ、その人物像と活動について注目する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、180分とする。</p> | | | | | | | |
| 教科書・参考書 | | | | | | | |
| <p>教科書：特に定めない。</p> <p>参考書：必要に応じて授業中に紹介する。</p> <p>指定図書：浅羽良昌（2010）：『国際観光論-図表で読み解く日本の現状と課題』昭和堂。</p> | | | | | | | |
| 授業外における学修及び学生に期待すること | | | | | | | |
| それぞれの国について興味を持ち、文献やメディアを用いて積極的に予習・復習を行ってほしい。 | | | | | | | |

| 回 | テ ー マ | 授 業 の 内 容 | 予 習 ・ 復 習 |
|----|--------------|---|---------------------------------------|
| 1 | 導入 | 授業の進め方や評価についてオリエンテーションを行う。 | 予：シラバスを読んでおく。【小テスト①】 |
| 2 | 今日の観光の特徴 | 統計資料から今日の観光の特徴を把握する。 | 復：今日の国際観光客到着者数、国際観光収支の特徴をまとめる。【小テスト②】 |
| 3 | イギリスの観光史 (1) | イギリスの経済、社会、文化と観光産業について概観する。グランド・ツアーについて解説する。 | 復：グランド・ツアーについてまとめる。【小テスト③】 |
| 4 | イギリスの観光史 (2) | トマス・クックによる旅行業について解説する。 | 復：トマス・クックの人物像について調べる。【小テスト④】 |
| 5 | イギリスの観光史 (3) | 自然環境や歴史的建築物を保護するナショナルトラストの成立とビアトリクス・ポターの活動をみる。 | 復：ナショナルトラストにより保存されている場所を調べる。【小テスト⑤】 |
| 6 | イギリスの観光史 (4) | イギリスの各地域の特徴を捉える。 | 復：イギリスの各地域の特徴をまとめる。【小テスト⑥】 |
| 7 | アメリカの観光史 (1) | アメリカの経済、社会、文化と観光産業について概観する。 | 復：アメリカの経済、社会、文化と観光産業についてまとめる。【小テスト⑦】 |
| 8 | アメリカの観光史 (2) | アメリカ文化と観光産業の発展について考える。ラスベガスの成り立ちと発展をみる。 | 復：カジノ以外のラスベガスの特徴を調べる。【小テスト⑧】 |
| 9 | アメリカの観光史 (3) | テーマパークの成り立ちをみる。ウォルト・ディズニーとディズニーランドに焦点をあてる。 | 復：世界のテーマパーク入場者数ランキングを調べる。【小テスト⑨】 |
| 10 | アメリカの観光史 (4) | ハワイの観光開発の歴史とハワイの文化について学ぶ。 | 復：ハワイの観光開発の問題点を調べる。【小テスト⑩】 |
| 11 | 日本の観光史 (1) | 日本の経済、社会、文化と観光産業について概観する。社寺参詣の歴史、日本における旅行業の成り立ちと発展についてみる。 | 復：日本の経済、社会、文化と観光産業についてまとめる。【小テスト⑪】 |
| 12 | 日本の観光史 (2) | 近代における日本の観光客誘致策と観光産業(主に交通業)の展開をみる。小林一三等の活動に焦点をあてる。 | 復：日本で有名な社寺を3つ選び、その特徴を調べる。【小テスト⑫】 |
| 13 | 日本の観光史 (3) | 近代における日本の観光客誘致策と観光産業(主に宿泊業)の展開をみる。お雇い外国人と旅行についてみていく。 | 復：明治期の訪日外国人が日本をどのように見ていたか調べる。【小テスト⑬】 |
| 14 | 日本の観光史 (4) | 総合保養地域整備法(通称リゾート法)に焦点をあて、それによって生じた問題について考える。 | 復：バブル経済とは何か調べる。【小テスト⑭】 |
| 15 | まとめ | 21世紀以降の世界の経済発展と観光について検討し、本講義で学んだことを総括する。 課題レポート | 復：各国の特徴について再度確認し、定期試験に備える。【小テスト⑮】 |
| 16 | 定期試験 | 筆記試験 (択一式) | 定期試験の準備 |